

海洋資源環境学専攻

アドミッション・ポリシー

1. 受け入れる学生に求める関心・意欲

海洋資源環境学専攻は、海洋の環境とその保全、海洋生物と環境との関わり、海洋資源およびエネルギーの応用的開発や持続的利用に係る諸課題に関心を持ち、幅広い知識と技術を修得して、課題解決の方法を積極的に探求する意欲を持つ学生を求めます。

2. 受け入れる学生に求める学修成果

(1) 専門的学識

博士前期課程における専門分野の学習に必要な海洋の環境及び資源に関する基礎科学と応用科学に関する基礎的な専門知識と実験・実習等で培われた研究の遂行に必要な技術の修得

(2) 豊かな国際性と幅広い教養

異分野との協働や英語による情報発信などグローバルに活躍する人材に求められる海洋の環境及び資源に関する基礎科学と応用科学に関する幅広い教養と国際的・文化的素養

(3) 自ら考え判断し表現する能力

社会的背景を踏まえ、海洋の環境及び資源に関する基礎科学と応用科学に関する解決すべき課題について論理的に思考し、問題解決に向けた適切なアプローチができる基礎的な能力

(4) 現場で通用する実践力

海洋の環境及び資源に関する基礎科学と応用科学に関する自分の考えをわかりやすく他者に伝える表現力や、積極的に他者と交流するコミュニケーション能力と社会に対する責任感

3. 入学者選抜での評価方法

入学者選抜に際しては、「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するため、一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜および外国人留学生特別推薦選抜を実施し、学生を選考します。

・ 一般選抜（口述試験または学力試験）

口述試験では、口述試験結果、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行います。

学力試験では、学力試験成績、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行います。

・ 社会人特別選抜

学力試験成績、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行います。

・ 外国人留学生特別選抜

学力試験成績、成績証明書、入学定員等を考慮して総合的に評価を行います。

・ 外国人留学生特別推薦選抜

書類審査または口述試験により総合的に評価を行います。

カリキュラム・ポリシー

1. 教育課程編成の方針

海洋環境とその保全、海洋生物と環境との関わり、海洋資源およびエネルギーの応用的開発や持続的利用に係る専門的知識を総合的・学際的に修得させるために、高度で専門的な基礎科学と応用科学を広くかつ深く修めるカリキュラムを編成・実施します。また多数の科目に英語講義や対話型講義を導入し、国際化への対応や能動的・実践的な対応能力の育成を進めます。

2. 教育課程実施の方針

特別演習・実験や調査・論文作成を通じた教育や実践的教育を介して、研究の推進能力、研究成果の論理的説明能力、学術研究における倫理性等を備え、自ら課題を発見し解決する能力を修得させます。

ディプロマ・ポリシー

1. 目指すべき人材像

海洋環境とその保全、海洋生物と環境との関わり、海洋資源およびエネルギーの応用的開発や持続的利用に係る諸課題に関心を持ち、これらに対して理学的および工学的な視点からその学術的理論および応用技術、深奥を探究する能力、先端領域を切り開く専門能力を持った、高度専門職業人の養成を目指します。

2. 学生が身につけるべき能力、素養の目標

(1) 高い国際性と発信力

外国語によるコミュニケーション能力や専門性の高い研究集会での発表や議論ができる能力ならびに論文を作成する能力

(2) 広く深い専門的知識

海洋の環境および資源に関する基礎科学と応用科学に関連する幅広く専門的な知識

(3) 学術研究における高い倫理性、学術的意義、新規性、独創性、および応用的価値を有した研究を理想を持って遂行する能力や先端領域を切り開く能力

3. 修了認定の要件

所定の単位を修得し、上記2に掲げる能力、素養を有するとともに、学位論文の審査および最終試験において、各研究分野における学術的意義、新規性、独創性および応用的価値を有していることが認められた者に対して修了を認定し、修士（海洋科学または工学）の学位を授与します。